



東稲ニュース

令和3年（2021年） 1月10日発行

発行責任者 高橋 哲男

編集責任者 小山田 朋樹

E-mail: bente-takahashi@jcom.home.ne.jp

<http://higashikurume-toumonkai.com/>

事務局 大矢 真弘 TEL042-475-8532

第115号

早稲田大学校友会東久留米稲門会



会長年頭挨拶

東久留米稲門会会長 高橋 哲男

明けましておめでとうございます。昨年は、コロナ禍の1年でしたが、会員の皆様におきましては、ご健康で新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃、稲門会活動にご支援、ご協力いただきましてありがとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。

昨年の新年会で、昭和は戦争、平成は災害の時代でありましたが、令和は真に平和な時代が訪れることを願う挨拶をいたしました。昨年は人類史上未曾有な災難になってしまいました。改めて平穏な日々

の意義を痛感いたしました。

このような状況でしたので、昨年、稲門会として全体の行事は開催できませんでした。そこで年会費について昨年12月の役員会で検討しました。2019年度からの繰越金は約93万円であり、収支の概算ですが、本年度の会費収入が約39万円、これに対して支出は学生への緊急支援金、部会補助金、ホームページ改編費用本年度分等ではほぼ同額の約39万円が校友会からの補助金5万円が余剰となり、2020年度の繰越金は100万円近くなる見込みです。この繰越金に対して来年度は会費の減免または免除の意見がありました。一方、長期的には、3年後に当会は30周年を迎えます。20周年記念式典時は、約75万円の経費がかかっており、その積立金の準備と例年通り校友会から20万円の補助金がない場合は、通常の稲門会活動をする

と会費収入だけでは不足する懸念があります。これらの点を更に2月の役員会で検討して総会に提案をする予定です。

また、本年度は当会が主幹稲門となっている東京三多摩支部は、総会（会長会）や支部大会、東京23区・三多摩支部合同会長会が中止となりました。しかし、書面審議総会の準備や学生への緊急支援金、支部のアンケート等で結構多忙であり、主幹グループの清瀬、東村山稲門会と適宜ZOOM会議を開催しております。アンケートを見ると会員数の多少に関わらず、大半の会は、会員数の減少、高齢化、若手会員の入会が困難等の問題を抱えており、会を維持することで手一杯の状況です。各会の新規募集方法を聴取しましたので今後の活動に活かしたいと思います。

当会の会員数につきましては、これまでコロナ禍の中で増加しておらず、また、定年制の延長等で他の稲門会同様厳しい状況ですが、会員募集について鋭意検討し、対応して参ります。

さて、2021年度の行事は、新型コロナの終息状況によりますが、4月17日（土）が定時総会、講演会の講師は、昨年度講演ができなかった1981年理工学部卒の正田浩司氏による「東久留米市周辺の地形・地質」の講演になります。秋の懇親会及び来年度の新年会も予定しており、無事に開催されることを祈ります。尚、映画鑑賞会は5月までの延期を決めております。

昨年1月の当会ホームページ閲覧不能事故とその修復を機会に、現在のホームページが既に5年を経過して見直し時期に来ており、より会員にとって使いやすくなる方向で全体の見直しをすること

にいたしました。坂井幹事を中心として HP 委員会を組織して検討し、2021 年度中には完成をする予定で作業を始めています。

会員の皆様、昨年も申し上げましたが、東久留米稲門会には 15 の部会があります。部会に加入していない会員の方は、是非体験入会をしてください。稲門会会員としての楽しみが増えます。尚、本年度の早稲田大学関係のデータや話題については、情報も少なく省略いたします。

最後に皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

会の告知板 緊急事態宣言を受けて活動予定が大きく変更される可能性があります。変更についてはホームページに掲載します。

【部会予定】

- 1月16日（土）ニューイヤーコンサート（練馬稲門会主催） <中止>
 1月17日（日）東久留米稲門会新年会 <中止>
 2月 7日（日）第3回役員会 16:00 生涯学習センター（予定）
 2月15日（月）第79回ウォーキング 9:30 東久留米駅集合
 2月25日（木）映画鑑賞会「鉄道員」 14:00 成美教育文化会館 →5月27日（木）に延期
 4月 4日（日）臨時役員会 16:00 生涯学習センター（予定）
 4月17日（土）東久留米稲門会第27回定時総会 14:00 成美教育文化会館

<各部会定例活動一覧>

部 会	1 月				2 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	14	木	10:00~	中央町地区センター	18	木	10:00	中央町地区センター
書 道	10	日	13:00~	成美教育文化会館	14	日	13:00~	生涯学習センター
俳 句	17	日	13:00~	生涯学習センター	21	日	13:00~	生涯学習センター
囲 碁	24	日	13:00~	成美教育文化会館	28	日	13:00~	成美教育文化会館
太極拳	16	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	13	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	23	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	20	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	30	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	27	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:50 ~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50 ~	東久留米スポーツセンター

【大学・校友会関係】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会合等はすべて中止となっている。

会の報告

◎役員会報告

2020 年度第 2 回役員会が 12 月 5 日（土）16:00 ~生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

高橋会長より、開会の挨拶の後、以下のような報告等があった。

以下の 1 から 4 まで、新型コロナウイルス感染防止のため中止になった。

- 1 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係
 - (1) 小平稲門会 10/10（土） ルネ小平
 - (2) 稲門祭 10/18（日） 早稲田大学

-
- (3) 東村山稲門会 11/21 (土) サンプルネ・コンベンションホール
 - (4) 三多摩支部大会 11/22 (日) 大隈講堂
 - (5) 23区・三多摩合同会長懇話会 12月4日(金) 大隈会館「楠亭」
 - (6) 早大商議員フォーラム 12/5 (土)

2. 秋の懇親会

3. 会長・部会長・役員忘年会

4. 新年会

5. 2021年度定期総会

(1) 日 時 : 2021年4月17日(土)

(2) 場 所 : 成美教育会館1階ギャラリー、3階大研修室

(3) 講演者の件 : 正田浩司氏「武蔵野の段丘と湧水」

1983(昭58)年理工学部大学院卒 埼玉県立高校 地学担当教諭

6. 東稲会計11月末までの状況等

会計担当の清水氏より、11月末現在の収支実績について以下のような報告があった。

・収入：会費収入	131名×3,000円=393,000円
大学より補助金	52,000円
合 計	445,000円
・支出：HP関連費用	100,000円
大学への緊急支援金	100,000円
部会補助費	90,000円
その他	約100,000円
合 計	約390,000円
・次年度繰越金(見込)	約98万円(前年度は約92万円)



7. 広報関係

(1) 東稲ニュースー記事の募集、印刷日時等

小山田編集長より、資料に基づき編集案概要の説明があり、印刷日等が決定された。

原稿締切： 12月25日(金)

印刷日： 1月9日(土) 17:30～ 生涯学習センター 印刷室・学習室5

(2) HPについて

担当の坂井氏より、できるだけ会員の力で運営できるHP作りを目標として相談を進めており、後日変更内容等の説明も行う。次年度以降の費用概算も出せるだろう。HPで使用したいので、市内の観光スポット等の写真をお持ちの方に提供をお願いしたい等の報告があった。

8. その他

(1) 今後の役員会

2021年 2/7(日)・4/4(日)

(2) 映画鑑賞会

2021年 2/25(木)「鉄道員」・・・中止とし、5月27日(木)の実施を検討する

(3) 2021年度年会費等について

活動停止に伴う次年度会費の減額の件、繰越金額の適正額の件等の意見が出た。審議の結果、次年度予算作成時に30周年記念事業費を別枠とし、今後の収支見込みを勘案した繰越金額の適正額を検討することとなった。なお、この件については東稲ニュースの新年会長挨拶の中で触れてもらうこととする。

(4) 2021年度の活動について

次回(2021年2月)役員会において検討することとした。

9. サークル・部会関係

- ① 女性サークル ② ゴルフ ③ 囲碁 ④ 俳句 ⑤ 書道
- ⑥ 太極拳 ⑦ グルメ ⑧ 郷土研究 ⑨ ウォーキング&山歩き
- ⑩ カラオケ ⑪ 春秋野球早慶戦観戦 ⑫ ラグビー観戦 ⑬ 諸芸術鑑賞
- ⑭ 旅行同好会 ⑮ バドミントン ⑯ マグカップの会 ⑰ 映画鑑賞会

*今年度、活動が無かった部会の補助金は返金してもらうこととした。

・次回役員会について

2021年2月7日(日)16時より、生涯学習センター「学習室4」

大矢 真弘 記

◎ 2020年度商議員会の報告

2020年度商議員会は開催ができないため、書面による開催となりました。議事は以下の通り。

第1号議案 商議員会会長、副会長選出の件：会長は亀井淳現会長が継続。副会長も角和夫、塚本良江、李賢儀、柳井正、本庄大介現副会長が継続の他、中田誠司氏、秋池玲子氏、江田麻季子氏、許介立氏が新任

第2号議案 2019年度商議員会決算

第3号議案 2020年度商議員会予算

以上についてメールアドレス回答フォームによる12月21日までに諾否の要請がありました。

高橋 哲男 記

部会だより

「活動報告」

< 俳句部会 >

第243回 11月15日(日)

兼題：干し柿 冬将軍 他当季雑詠1句

< 高点句 >

むらさきに塩嶺暮れて冬近し	神田尚計
干柿を白磁の皿にひとりの茶	杉本達夫
夕映えに溶けるがごとく柿すだれ	片平るみ

< 自選一句 >

百目柿大数珠のごと吊るしけり	橘優治
一村の軒付く吊るし柿	比護喜一郎
秋霰雨明けて眩しき洗濯日	馬場清彦
大空を群らがり泳ぐいわし雲	横田慧子
冬将軍越の田んぼは朧々と	大久保泰司
教室に干されし柿の40個	川島知子
秋霖や修道院の深き森	三浦洋子
図書館ビル一回りして冬将軍	本間信一

第244回 12月20日(日)

兼題：水鳥 千枚漬 他当季雑詠1句

< 高点句 >

西武線冬至の夕日追いかけて	神田尚計
今日もよい一日でしたおでん酒	片平るみ

< 自選一句 >

湯豆腐の湯気の向こうに南禅寺	大久保泰司
千枚漬田毎の月に似てへんか	馬場清彦
旅便り千枚漬けに添えられて	川島知子
水鳥の安らぎの夜や風眠る	杉本達夫
水鳥や校庭の池の広さかな	本間信一
ザクザクと快きかな霜柱	横田慧子
街を巻く冬の光の黒目川	比護喜一郎
種からの夫(つま)の自慢の千枚漬け	三浦洋子
くさめしてぎっくり腰にとほほほほ	橘優治

片平るみ 記

<ウォーキング&山歩き部会>

奥多摩むかし道（11月26日（木）実施）

他の催し物と重なった為、月曜日開催が出来なかったことをお詫び致します。

コロナ禍の第3波到来。ウォーキングの実施可否に悩みながらも、オープンエアーでは3密を回避できることから、途上の交通機関内ではマスク着用することで実施可と判断した。

総勢11名（男8、女3）。東京都内とは言え、奥多摩駅まで電車を乗り継ぎ2時間弱、そこからバス15分を経て、本日のスタート地点、奥多摩湖に到着。今朝の出発時、東久留米では霧が立ち込めていたのに湖は晴れ渡り、都民の1/3の水消費を賄う湖の広々とした開放感を味わいながら湖岸を散策。小河内ダム堰堤では上から遥か下を覗き込んで、その雄大さにちっぽけな人間が成した偉大さに思い至った。奥多摩むかし道は、旧青梅街道と呼ばれていた道の内、氷川（奥多摩駅付近）からダムのある小河内までの9km強の道である。街道全体としては、更に小菅から大菩薩峠を越えて甲府に至る甲州裏街道で、甲州



街道より8km程近道だそうである。明治32年に小河内と氷川間の割り平坦な山腹を通り、道のりも現在近くに短縮された道に改修され、その後も度々改修が行われて大正から昭和初期にかけて生活の道となった。昭和13年ダム建設資材輸送専用として造られた道路が昭和20年に一般道として開放されたことにより、主要な役目を終えたが、今でも古の情景が窺われる一方、各集落の人々の生活道となっている。湖側から歩く

コースは、高低差約250m程度を下るので比較的楽ではあるが、途中は旧街道の道宜しくアップダウンの連続で、ここを草鞋掛けで歩いた往時の旅人の苦勞が忍ばれる。湖から徒歩5分の水根バス停が出発点。標高差80mの舗装道路を1km程頑張っって登り、民家の間を縫う細い道に折れて更に1km。浅間神社を過ぎ、紅葉が残る木立を透かして時折臨まれる多摩湖を楽しんだ後、石ころに足をとられる急坂の細い道を一気に下り（反対に登って甲州を目指すことは大変だったでしょう）、この行程唯一の休憩所に至り昼食とした。ウォーキングに参加しても反省会抜きでは「仏作って魂入れず…」の思いとの声もあり、持参の日本酒で乾杯。青空を仰ぐ紅葉の木陰での1升の賞味は曰く言い難く、瞬く間に無くなった。

「友酔はず我また酔はずいとまなく さかづきはしこころを温む」（牧水）

この先奥多摩駅までは、狭いながらも舗装道路となっており、水洗の公衆トイレも整備され、多少のアップダウンはあるものの歩き易いウォーキングを楽しみながら、随所にある数多い石碑や塔、祠など往時の遺物に親しんで歩いた。途中、多摩川が深く削った惣岳（そうがく）溪谷沿いの道では、暫し紅葉が残る溪谷美に浸ることが出来た。溪谷に2つ掛かる道所吊橋としだら吊橋では、足を竦ませながら覗いた遥か下の水の流れの清冽さと、取り囲む景色の美しさに心奪われるだけであった。旅の終わりに至り、小河内ダム建設の為の鉄道トンネルを見やり、高低差70mを850mの行程で下る急坂を踏みしめ、奥多摩駅に到着した。

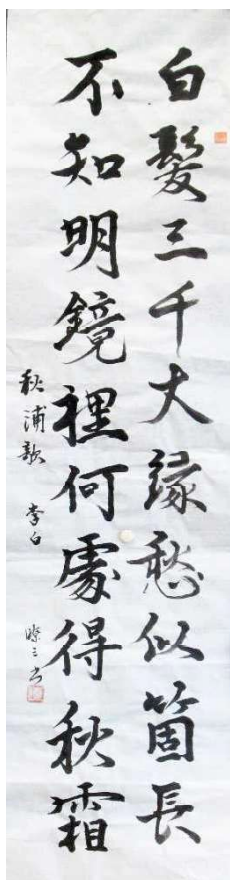
穏やかで、未だ寒さの来ない晩秋の一日を満喫した。数日後にはコロナ猖獗による「不要不急の外出控え」が呼びかけられた状況下、打ち上げは自粛、三々五々解散した。

「白玉の齒にしみとほる秋の夜の 酒は静かに飲むべかりけり」（牧水）

ウォーキング&山歩き部会長 東海 俊孝

<書道部会>

コロナ禍真っ最中ですが書道部会は7月から何時もの如く例会を実施しています、書に魅せられて各部員が自分の想いを込めて書いた書作品を披瀝しながら自己研鑽しています。その中の2点です、皆さんの忌憚のない批評をお願いします。



書作者: 笹井さん

笹井さんの書作品：秋浦（しゅうほ）の歌（李白）秋浦は風光明媚な所、（李白55才の作）白髪三千丈、愁（うれ）いに縁（よ）って箇（か）くの似（ごと）く長し、知らず明鏡の裏（うち）、何れの処にか秋霜（しゅうそう）を得たる。鏡に映る我が姿を見れば白髪は三千丈もあろうかと思われるほどに長い、つもりつもった愁いのためにこんなにも長くのびたのだろう。澄んだ鏡の中の白髪頭、この秋の霜のような白髪はいったいどこからやって来たのだろう。

書評等：笹井さんは李白の白髪三千丈の詩が脳裏に浮かんだのでしょうか？まさに人生の心境を書に表現されたかに思える。この作品を見た途端、我が身も然りですが、稲門会の高齢者の皆様も胸にぐっとくるものがありますか!!李白の時代(奈良時代)の人生と令和人生は違えども人生には限りがあります、身につまされる思いがひしひしと迫って来る今日この頃です。さて書作品ですが笹井さんのキャリア（筆を執るのは何十年ぶりとか）を勘案すればとても想像もつかないほどの”健康的な美しさの書”です。丁寧な用筆で温和な書きぶりの落ち着いた書です。資質のある笹井さんですから次の点に留意されれば更に魅力ある書作品が期待されます。1.行と行間の中心をしっかりとおさえること（蛇行しない）2.字間、行間の空白の調和を取る事、書は黒（線）と白（空間）の戦い、その調和を意識すること。3.2行均等から1行は13~14字2行目は7~6字の構成、落款は2行目の下におさめる工夫。頑張って挑戦してください。見違えるほどの魅力のある作品になりますよ!!



書作者：小野さん

小野さんの書作品：迅雷風烈必変（じんらいふうれつかならずへんず）論語 雷が凄まじく鳴り風が激しく吹く時は天意を畏れて態度を改め、心を引き締める。事態が急激に変わるさま。行動が素早いさま。何事も迅速的確に実行される小野さんの哲学が窺える論語です。

書評等：論語に造詣の深い小野さんは自書作品についても何時も確たる論語の背景を理路整然と解説をしながら自己実現しておられます。書にもその実直な性格が表現されたかに見えます。迅雷風烈必変の書作品は大きな構えで大胆運筆しリズム感があり作品の構成バランス良く、落款も自然落ち着きがあって全体として端正な書きぶりの作品です。留意点としては作品に緊張感を出すこと、即ち一行目の迅の字の第一画は鋭く右上がりに羽ばたき、しんにはゆるたり伸び伸びと、2行目の必はやや小さく、変はやや縦長に等各文字に変化を求めて作品全体がピリッとした雰囲気になるよう意識することです。それには100枚ぐらい書きフィーリングを掴むことです。

言うは易し行うは難しですが・・・とにかく頑張りましょう。

武藤 豊（号：豊翠=ほうすい）記

<バドミントン部会>

2015年創部のバドミントン部会は、総勢17名（うち女性5名・コーチ1名）、平均年齢71歳近くの盛況部会です。

2020年は、新型コロナウイルスで3月から5月まで3ヵ月間のお休み期間がありましたが、「東京ドームスポーツセンター東久留米」が休館でない限り、毎週金曜日のお昼に2時間程度の練習を楽しんでいます。

練習の成果を地域の競技会で腕試しすると、部会ではダントツの腕前君でも、初心者クラスの最下位にはまだ距離があることが昨年再確認できました。バドミントンで鳴らしたコーチの指導を仰ぎ、「随分と上手くなった」と褒めていただいているものの、上達するのが最終目標ではないと慰めています。努力を続ければそのうち、健康寿命がマグカップの会に追いつけるかも知れませんので。

6月のスポセン再開後からの練習1回当たり平均参加者数は、12.2名でした。昨年同時期の平均が12.6名でしたので、ほぼ同じと言えます。もちろん、検温やアルコール消毒、三密の回避など、スポーツセンターからの注意事項をしっかりと遵守しています。

卒業生の皆さま、この際、バドミントン部会への入会を果たし、ついでに東稲会にも参加しませんか。



坂井 淑晃 記

<太極拳の集い> 「私と太極拳」 ----鮎貝盛和氏 太極拳の集いを語る----

平成13年(2001年)4月、定年退職した私は東久留米稲門会に入会しました。その年の9月8日に開催された納涼懇親会に出席し、2次会として松崎博氏宅に寄りました。そこには当時の書道部の面々が集まり、書道についてのいろいろな意見が交わされました。私は門外漢なので、ただ皆さんの話を聞いていました。その内、9月1日に発足した太極拳部の話になり、強く入会を勧められました。そこで、10月最初の稽古か

ら参加することを約束しました。

現在は稽古場所として「成美教育文化会館」を年間契約で使用していますが、当時は市の施設を使用していた為、稽古場所は抽選結果に左右され「市役所プラザホール」とか「さいわい福祉センター」など、その都度場所が変わっていました。

私が最初に参加したのは「さいわい福祉センター」でした。指導に当たっていたのは、書道部員のF氏でした。間もなく、高橋 2 代会長の計らいで、指導者にM氏が加わりました。参加者は全員初心者で指導者の動きを見様見真似で演じていました。指導内容は楊名時の八段錦・太極拳でした。

太極拳にはいろいろな門派がありますが、伝統拳と言われる陳家太極拳、楊式太極拳、呉式太極拳、武式太極拳、孫式太極拳などが主なもので、その他制定拳と言われる簡化二十四式太極拳(1956 年発表)、四十八式太極拳(1979 年発表)、八十八式太極拳(1957 年発表)などがあります。楊名時太極拳と聞いて、最初は楊式太極拳と思い込んでいました。

ホームカミングデーに参加した時、当時の商学部館の前で二十四式太極拳を見学する機会を得ました。初めは飛び入り参加をしようかと考えていましたが、様子を見ることにしました。演武が始まると、一見楊名時の太極拳に似ているものの、動きがまるで違うのに気が付き、飛び入り参加をしなくて良かったと胸を撫で下ろすと同時に、楊名時太極拳は楊式太極拳ではないと気が付きました。

平成 17 年(2005 年) 2 月に東久留米市の短期講座で太極拳の講座があるのを知り、受講しました。3 日間の講座でしたが、入門太極拳(八式)を教えられ、その後、その講座の先生が教室を開くということで稲門会の稽古日と曜日が異なっていた為、その教室に通うことにしました。入門太極拳、初級太極拳(八式)と進み、簡化二十四式太極拳に辿り着きました。そこで、ホームカミングデーで見た太極拳は簡化二十四式太極拳であったことに気が付きました。後で判ったことですが、楊名時太極拳は簡化二十四式太極拳を日本人向けに楊名時氏がアレンジ(考案・振付)したものでした。(1960 年発表)

私個人としては簡化二十四式太極拳(制定拳)一本に絞ろうとしていた矢先、太極拳部の代表に祭り上げられてしまいました。(平成 19 年 3 月) (2007 年)

まさに青天の霹靂。

文字どおりの「無資格・無免許運転」で前任者の真似をして指導員もどきを演じていましたが、市販の参考図書やビデオ(テープ、DVD)などを参考にして徐々に前任者のカラーから抜け出しました。参考資料の他、毎年行われる「全日本武術太極拳選手権大会」を観戦し、太極拳の所作を覚えました。

平成 22 年(2010 年) 会員の中から楊名時太極拳以外の太極拳は出来ないだろうかと意見が出され、簡化二十四式太極拳を組み入れることにしました。しかし、永年、楊名時太極拳を稽古して来たので、オイソレとはいきません。入門太極拳、初級太極拳を習得してから簡化二十四式太極拳へ移行しました。

稽古内容を全面的に簡化二十四式太極拳に移行するわけにはいかず、前半は楊名時太極拳、後半に簡化二十四式太極拳を組み入れました。

平成 24 年(2012 年) 古傷の影響で、右膝関節置換手術を受けることになりました。稽古に復帰できる間、稽古を休むわけにはいかないので、渡辺真司氏に指導役をお願いしました。復帰後は、渡辺氏と二人三脚で会を運用してきましたが、代表を 10 年続けたのを機に、平成 29 年(2017 年) 渡辺氏と交代しました。

最初は好奇心と運動不足解消のつもりで始めた太極拳でしたが、思わぬ事態からある意味真剣に太極拳に取り組むことになってしまいました。しかし、八十も半ばになると体力・気力の衰えと脊柱管狭窄症の影響で、嘗ての頑張りが大分衰えてきたようですが、何とか続けていきたいと考えています。

鮎貝 盛和 記



鮎貝氏の模範演武



稽古には毎回ご夫婦で参加

「今後の予定」

＜ウォーキング & 山歩き部会＞

活動方針：行動途中での交通機関内のマスク着用には従いますが、歩いている時はマスクをしないで済む、密集のない場所を巡ります。（屋外でもマスク着用を要求される場所は、対象外とします）

政府、都知事による移動自粛要請がある場合は、中止します。

当面の活動予定：

（第79回）野火止用水に沿って平林寺へ 2月15日（月）東久留米駅 9:30 集合

（第80回）湯島天神・小石川後樂園で梅見、又は、高尾梅郷で梅見 3月8 or 15日（月）東久留米駅 9:00 集合 ●開花状況で日時決定

（第81回）桜の花見（場所未定） 3月22 or 29日 or 4月5日（月）●開花状況で日時決定
候補：大宮公園、多摩自転車道・小金井公園、東久留米黒目川・白山公園

（第82回）躑躅の花見（場所未定）4月26日 or 5月10日（月）●開花状況で実施可否と日時決定
候補の例：青梅塩船観音、館林、他

★実施詳細はメールでお知らせします。参加実績のない方はメールアドレスの登録がありませんので、参加ご希望の方は以下宛に、メールアドレス or FAX 番号をご通知下さい。

宛先：toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp FAX：042-473-8566（東海自宅）

部会長 東海俊孝

特別企画【コロナ禍の中で】

①「祝！早慶戦勝利 10期ぶり優勝」野球早慶戦に2連勝で10期ぶり6大学リーグ優勝

今年の秋シーズンは、コロナに翻弄されながらも東京六大学野球リーグ戦が開催され、優勝が懸かった早慶戦で見事に連勝し我が早稲田大学が10期ぶりの優勝を果たしました。それを祝し、毎シーズン、「野球早慶戦観戦部会」にご参加いただいている常連の皆様へ、「ひとこと」を寄せ書き風にいただきました。

9 回表 2 死 1 塁。1 対 2 と 1 点リードされていた。私は自宅の居間で座椅子に座ってテレビ画面を固唾をのんで見ていた。打者は昨日決勝のホームランを打った蛭間だ。投手は定石通り左投手に変わった。蛭間は初球を果敢に打った。テレビの画面では内角の速球に見えた。打った瞬間「あ！詰まった。センターフライだ」と思ったが、打球はぐんぐんと伸びてバックスクリーンに吸い込まれた。劇的な逆転のツーランだ。殊勲の蛭間は満面に笑みを浮かべ腕を何度も突き上げてグラウンドを一周、監督や選手らに手荒い祝福を受けてホームベースを踏んだ。たったの 1 球が勝負の命運を分けた。球場全体がどよめくなか、ベンチに戻り頭を抱えてかがみこんでいる投手の姿が勝負の過酷さを如実に物語っていた。 帆角 信美 記

2020 年秋、コロナ禍に於ける早慶戦ほど感動を得たことはなかった。“あっぱれ我が母校”この喜びを今は亡き太田さんと分かち合い、大いに語り合いたいものだ。そう遠い先の話でもなさそうだと思う・・・。

太田晴之助さんが旅立たれて早や八年になるが、早慶戦 100 年、リーグ戦三連覇等、共に祝したあの日々
のことが甦って来る。 川上 昇一 記

優勝おめでとうございます。2020 年度秋季早慶最終戦は、小宮山監督の話のように生涯で一番の試合でした。小宮山監督の指導が見事開花しました。今後も監督・選手一体となり連覇を目指してください。

高橋 哲男 記

早稲田大学野球部の 10 期振りの優勝おめでとうございます。2020 年は 1 月 11 日にラグビー部が大学選手権で 11 大会振りに優勝し、東久留米稲門会の 2 つのスポーツ観戦部会が久々に盛り上がっていました。2021 年も両部の連覇を期待して応援して行きたいと思います。 小野 泰右 記

夏の悔しさを晴らす劇的且つ歴史的連勝。鬼になると言った小宮山監督の涙のインタビューは印象的でした。早川君大殊勲。2 年蛭間君 2 ラン 2 本の大爆発。1 年野村・熊田両君も成長。雌伏の時を経て来年は連覇を目指してほしいものです。 山口 謙二 記

2020 年秋季リーグ戦優勝、おめでとうございます。早慶最終戦での逆転勝利、早川主将のリーダーシップのもと総力戦の接戦を制し、チーム一丸となって勝ち取った優勝でした。小宮山監督の『このような状況下、リーグ戦全日程をやり切れたことは、六大学全チームの勝利と思っています』とのコメントが印象に残るシーズンでもありました。 黒坂 斉 記

②『大学選手権連覇に向けて <早大ラグビー部>』

本日は 12 月 19 日、大学選手権準々決勝で慶應戦を 29-14 で制し、無事年越しが決まりました。秩父宮ラグビー場からの帰路、小野さんと対抗戦の振り返りと大学選手権連覇に向けた戦略立案を行いました。

■対抗戦レビュー

上井草での練習さえもままならない異例の年、対抗戦はぶっつけ本番の状態が始まりました。序盤の 3 戦（立教、青学、日体）は練習不足もあり、想定外の苦戦ながらもなんとか 3 勝。中盤は難敵筑波、帝京。試合勘が戻って連係プレーも上向き安定して連勝。

そして終盤戦。伝統の早慶戦では今年も慶應の魂のタックルに苦戦するも BK が 3 本のトライを挙

げ、22-11 で辛勝し全勝をキープ。そしていよいよ最終戦の早明戦は全勝早稲田 vs 慶應に一敗した明治。これまでスロースターターだった明治は試合開始早々から目が覚めたような戦いぶり、早稲田は明治 FW の圧力に押され、BKで挽回しようと試みるもミスを連発。明治の集中は試合終了まで途切れることなく続き、結果 14-34 で完敗し優勝は明治、早稲田 2 位。早稲田が抱える課題が一挙に噴出し、大学選手権連覇に向けて暗雲が立込める結果となりました。

■大学選手権連覇に向けて

1 月 11 日の大学選手権決勝 明治戦（期待を込めて明治戦と決めつけていますが）。ここで打勝ち連覇を達成するためには、対抗戦での明治戦の反省からスクラム・ラインアウトの立直し、ディフェンスを抜去るBKの連携の修正などに取り組むこととなります。

しかし、それより大切な事は『受けに回らず先手で仕掛ける攻めのマインド』を取り戻すこと、これさえあれば互角に戦える戦力は整っています。攻めの姿勢に転じられるか、試合開始直後、入りの 10 分が勝敗を分ける分岐点になりそうです。

本日 12 月 19 日の第 2 試合は明治・日大戦でした。盤石と思われた明治でしたが前半から受けに回り、なんとか勝利するものの意外な苦戦。山口さんの言葉をお借りすれば『明治も人の子』。

早稲田大学ラグビー部が攻めの姿勢を貫き、次号「東稲ニュースNo. 115」が届くころには連覇達成、新国立競技場で『荒ぶる』を聞けることを願っています。

黒坂 斉 記



③「祝！令和2年度東久留米市表彰 市民体育功労者受賞 伊東 毅会員」

昭和40年商学部卒の伊東 毅と申します。

この度、市民体育の向上に功労があったとして東久留米市より表彰を受けました。市の体育協会加盟団体にラジオ体操連盟という組織があり、その傘下の1体操会場の会長を永年務めていることが表彰理由です。表彰されるほど市民体育向上に貢献しているかという点に忸怩たるものがあります。稲門会のゴルフ部会のメンバーですが、私の地を這うような超低レベルのゴルフの腕をご存じの諸兄なら何故体育関連で表彰？と思われるでしょうが。

尚、私は野火止の本村小学校庭で毎朝6時半から40分間の体操に参加しておりますが、ラジオ体操連盟として他に滝山公園、西団地内児童公園、ひばりが丘団地南公園、不動橋広場等の会場で日本/中国のラジオ体操、練功十八法益気功、ストレッチ体操等を集団で行っております。ご興味のある方はご連絡ください。

④「祝！令和2年度東久留米市表彰 産業振興功労部門受賞 岩崎俊彦会員」

昭和45年卒の岩崎俊彦と申します。

この度、令和 2 年度東久留米功労者表彰を産業振興功労部門として受賞いたしました。本年は東久留米市制施行 50 周年ということもあって誠に名誉な事でありました。

弊社（株）岩崎文昌堂は小学校に学習教材を販売をして 60 余年になりましたが、私は今後とも学習教材を通して地域の子供たちのために、地域の教育の発展充実のために、そして地域の未来のために、尚一層の努力をしていきたいと思っております。

東久留米稲門会の皆様とも、さまざまなイベントを通じて親睦を深めたいと思いますので何卒よろしくお願い申し上げます。

⑤ 「祝！ 第56回全日本K16級ヨット選手権大会 優勝」

10月24日(土)25日(日)の両日、江ノ島沖にて開催された表記の大会で、優勝することが出来ましたのでご報告させていただきます。全日本選手権と言っても名前だけが大仰で、各地で予選があったわけでもなく、中身はいつもの仲間内の草レースと同じ。セーリングの世界でも特に注目を集めるような大会ではありません。

レースのスタート風景 1140号が小山田艇



仲間内のゴルフコンペで優勝したのと同じようなものです。念のため・・・。

K16級ヨット(写真参照 全長約5mの小型ヨット)は、数少ない日本人設計の国内クラス艇であり、1963年に熊沢時寛先生が設計し、帆走性能が良くFRPの量産艇として比較的安価に売り出されたことから人気

高まり全国的に普及、登録No.が1,000を超えるまでになりました。私が学生時代(1971～75年)所属していた「早稲田マリンヨットクラブ」も、K16クラスを制式艇として採用していて、当時3艇を所有していました。なのでもう50年近く付き合ってきたクラスになります。他には青山学院理工ヨット部(通称青学セーリング)もK16クラス艇を採用しています。バブル崩壊後マリンスポーツ人気も下降傾向となり、K16クラスも造艇数が激減。現在稼働している艇は、江の島にわずかに15艇程で、そのうちの11艇が参加して今大会が行われました。学生艇が5艇(早稲田マリン2艇、青学セーリング3艇)、社会人艇6艇の11艇。すべて船齢20年以上の老艇ばかりですが、他のレース専用艇種と違い重たくても頑丈な作りなので簡単には壊れず、皆大切に乗り続けています。私は大学卒業後、818号艇、1048号艇、1122号艇と乗り継いで1996年から現在の1140号を愛艇としています。

大会はそんな11艇により、1日目3レース、2日目2レースの合計5レースの総合成績で順位を争いました。JSAF(日本セーリング連盟)の定める公認規定に従い、国際セーリング競技規則(RRS)を使用、公式A級審判員3名と上級レースオフィサー資格を持つ運営管理人一人に参加してもらうことで「JSAF公認」のお墨付きを獲得し、「全日本選手権」を公式に名乗ることが出来ました。

1140号艇の成績は、1日目第1R:3位、第2R:4位、第3R:1位、2日目第4R:1位、第5R:2位。各レースの順位がそのまま得点となり、5レースすべて成立の場合は、最も悪い成績を除外できるという規定から、3,1,1,2の合計7点で総合1位となりました。2位1132号艇(ウシオ電機ヨット部)は1R:1位、2R:1位、3R:4位、4R:DNF(フィニッシュ出来なかった)、5R:3位で、DNFが参加艇数+1の得点12点となるので、これを除外で合計得点9点。3位の1135号艇(神奈川県庁ヨット部)が、1R:5位、2R:2位、3R:2位、4R:3位、5R:6位で、第5Rの成績除外で合計得点12点。1131号艇(早稲田マリン先輩の国分氏と現役学生のコンビ艇)も、4位、3位、3位、2位、4位と合計得点12点で神奈川県庁1135号艇と同点

でしたが、RRSによる順位決定規程に従い4位となりました。

今回の勝因は、風が弱風～順風で高齢/ベテラン向けの海面状態だったことです。強風だと敏捷性と体力の勝負となって若者に負けてしまいますが、風が弱ければ風の振れや潮の流れを読んで、経験と熟練の技勝負に持ち込めます。ちなみに私のクルーですが、1日目は井坂なつ子さん、2日目は徐健泰さん。二人とも40年来の私のクルーで、内科医の徐君が土曜は診療日のため、中学校教員をしている井坂さんに1日目クルーをお願いしました。軽量級の井坂さんが1日目のクルーだったことも勝因の一つと言えます。

小山田 朋樹 記

東稲広報室

<訃報> 榎本幸子さん 2020年10月 御逝去 (享年91歳)

<祝! ご結婚> 大矢崇弘さん(h30社学) 11月8日 万佑花さんと結婚なさいました。

<吉報>

元会長の平山正径さんが、書道研究書聖会の最高位である「成家」になりました。また今年は、読売書法会の幹事にも昇進され、その他の会の幹事、理事もなさっています。会社員の時から、出勤前の早朝に毎日練習なさっていました。その努力が実を結ばれました。

おめでとうございます。

<Table For Children>

12月17日、滝山子ども食堂へ15000円送金いたしました。今回もいつもの二人の方が多額を出してくださいました。ご協力感謝いたします。

<早稲田大学ラグビー決勝に進出!>

準決勝の相手帝京の強いプレッシャーに対して、我が早稲田は決してひるむことなくディフェンスを行い、33対27で勝利しました。1月11日(月)は国立競技場で決勝戦を行います。相手は、明治を破った西の王者天理です。NHK総合にてテレビ生中継を行いますので、応援をしましょう。

今回の試合のコメントと決勝戦に向けての展望を黒坂さんに述べてもらいました。

1月2日、秩父宮にてラグビー大学選手権準決勝2試合が行われました。早稲田は第1試合で帝京と対戦、スクラムで劣勢となる場面もあり緊張感のある厳しい試合展開となりましたが、バックスの決定力など総合力で勝り主導権を渡すことなく33-27で勝利。1月11日の決勝進出を決めました。

第2試合は明治 vs 天理。体格で劣る天理が明治の圧力に対抗できるかが見所でしたが、明治に付入るスキを与えない粘り強いディフェンス、強力な留学生選手の突破など攻守において優位に立ち41-15で予想外の完勝。決勝戦の相手は天理となりました。

明治の敗戦を見ると天理も強敵です。特に留学生選手フィフタ対策は必須ですが、アタックパターンを分析、防御網を固めれば、早稲田伝統にして今期特に強力なバックスの展開力で勝機は十分。攻めの姿勢を貫いて1月11日は連覇達成、新国立競技場で『荒ぶる』を聞けることを期待しています。

(黒坂 斉)

<2021箱根駅伝早稲田6位!>

お正月の一大イベントになった「箱根駅伝」。今年も早稲田は走りました。総合成績は6位で、総合タイムは、11時間3分59秒で来年のシード権をとることができました。箱根駅伝は、今年で97回目を迎え、過去早稲田は出場回数中央に続き第2位、優勝回数も中央に続き第2位です。最近の優勝は第87回目の大会でしたので、今から10年前だということになります。

会員リレーエッセイ「噴水広場」

我が家の猫のこと

吉川 明美 (S52 教育)

今は大変な猫ブームですが、我が家にも一匹の大きな雄猫がいます。

12年前に家を建てたとき、娘に言われて猫を飼うことにしたのですが、その時折よく「猫の里親募集」の張り紙を見つけ、貰ってきた猫です。

娘と猫を貰いに行った時の事ですが、連絡先の女性は猫の世話をしている人ではなく、ネットで猫の貰い手を探すお手伝いをしている人でした。その人に猫のいる家まで車で案内してもらったのですが、欲しかった小さな子猫はほとんどいなくて、目に付いたのはケージの外を歩いている成猫達でした。猫を貰いに行ったのが10月だったので、春に生まれて保護された子猫は大方貰われた後だったのでしょうか。結局4か月の雌猫か6か月の雄猫のどちらかということになり、人懐こいという雄猫を貰うことにしました。この猫は一度貰われたのですが、貰った人が猫アレルギーを発症して、泣く泣く返しにきた猫だそうです。すでに体重が成猫並みの3キロあり、ふさふさした長い尻尾を持つ黒トラのこの猫に娘は「るー」と名付けました。



車で案内してくれた女性がるーを我が家まで連れてきてくれましたが、これは猫をきちんと飼える家かどうかを確認するため、猫の貰い手の家には必ず行って確かめてくるそうです。

猫を貰った時に、室内飼いをするように言われました。外に出すと交通事故にあったり、雄猫だと雌猫を探して遠くまで行って帰れなくなることもあるそうです。るーはずっと室内飼いをしていますが、これがけっこう大変でした。というのも力が強いのでスライド式の戸はこじ開けてしまうのです。戸を開けられないように色々工夫し、戸の開け閉めも手早くやるなどしていたのですが、時には外に出てしまうこともありました。ただ、そういう時はいつも庭で捕まえられたので大事には至りませんでした。

るーの得意技は大きな目でじっと見つめること。まさに「目は口ほどに物を言い」です。それでもだめなら、体を擦り付けたり前足でチョンチョンとやったりとアピール。「ごはん、ごはん」と催促する時は、「まだよ」と攻防戦です。

抱っこされるのは嫌いだけど撫でられるのは好きで、私が座っていると撫でてとばかりに前に座るので、そういう時はその柔らかい毛を心ゆくまで撫でています。

るーは12歳なのであと何年一緒にいられるか分かりませんが、穏やかな日々が続いてほしいと心から思っています。

<編集後記>

お正月が終わり、やれやれと言ったところだが、昔のお正月はもっと特別感があつたように思う。特別感が失われた原因の一つに、元旦からスーパーもコンビニも開いていることがあるかもしれない。やれクリスマスだハロウィンだバレンタインだと昔より行事が増えたせいもあるかもしれない。普段からご馳走を食べ慣れていることもあるのかも……。古き良き時代だったと片付けてしまうのは簡単だが「淑気満つ」の感じは遠くなりにはけりだなあと、若干の寂しさを感じてしまうのは私だけだろうか。(片平るみ)

編集委員：有賀千歳(今回の担当)、小山田朋樹、片平るみ